

'04.6.18

p59-16

生涯現役の力生かせ

創年市民大学に90人入校

志 布 志

少子高齢化社会活性化のため、新たな生きがいづくりを見だし、その活力をまちづくりに生かしてもらう「志布志創年市民大学」の開校式が十五日、志布志町文化会館であった。二十代から七

十代までの一期生約九十人が参加、千葉・聖徳大学の福留強教授が「創年とは生涯現役」と題し記念講演をした。

創年は、新たな人生に挑戦する生涯現役を目指す人々の呼称で、老人、

壮年に代わる言葉として、福留教授が提唱している。講演で福留教授は「長寿社会を、意味と目標を持って生きていきたい。団塊の世代は、パワーを持ち、能力とやる気もある。子供たちや地域

のためにどんな仕事ができるのか学んでほしい」などと呼びかけた。

志布志創年市民大学は同町と、千葉の聖徳大学生涯学習研究所、NPO

法人全国生涯学習まちづくり研究会との共催。地域学で活躍する人を全国

から講師に招き、前期一年(十七回)、後期一年(十六回)の二年間学ぶ。卒業者は「まちづくり仕掛け人」として認定する。



記念講演をする福留強聖徳大学教授